

# Digital Camera 倶楽部

JUN 2018  
Vol.150

## パンフォーカス

前ボケ 後ろボケ

手振れ 被写体ブレ

もう何回もテーマとして取り上げていますが、もう一度レンズの持っている特性と合わせて解説したいと思います。

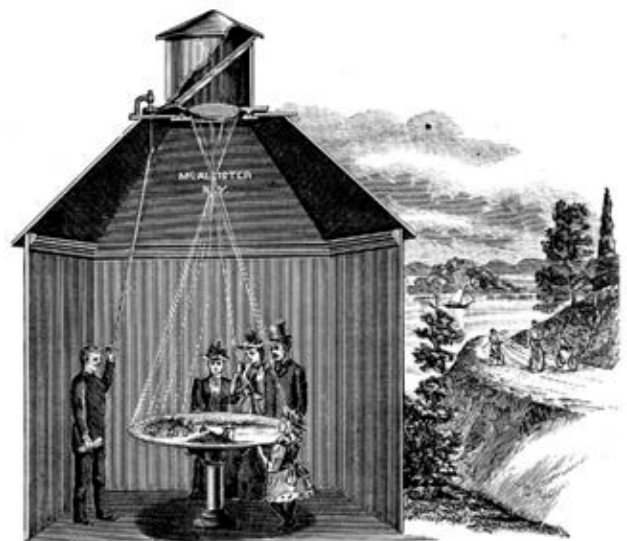
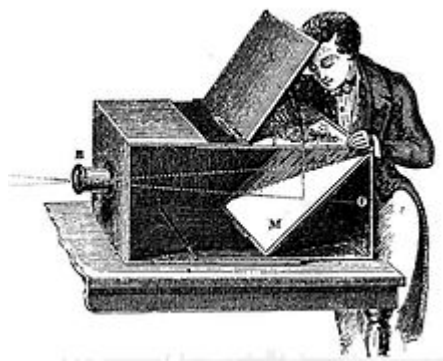
今回は パンフォーカス について考えてみましょう

子どもの頃に朝目が覚めると、壁に庭の景色が薄ぼんやりと映っていた記憶はありませんか。昔の家は殆どが木造で、雨戸も板張りでした、その雨戸の板に小さな節穴が開いていると、暗い部屋の中に外の風景が節穴を通して映るのですね。

今では高气密高断熱住宅で、雨戸もスチール製、中には断熱材を挟んだものまでありますから、こんな現象は見たくても無理ですね。

しかし、この現象を利用したのが カメラ の始まりで、箱の中の位画面に外の風景を映しこんで、最初はその風景を筆記具でなぞって手描きの写真を作っていました。これを カメラ・オブスキュラ と言いました。

カメラ の語源がここにありました



最初は小さな穴(ピンホール=針穴)でしたが、その前にレンズを当ててみると映し出される像がはっきりして来ました。そしてレンズを近づけたり遠ざけたりすると大きく映ったり広い範囲で写ったりすることに、気が付いたのです。

更にこの写った画像を何とかそのまま残したいと考えたのが、フィルムの考案でした。



1826年に、フランスのニエプスがはじめて「写真」を完成させました。ニエプスが使った感光材料は、みなさんの周りの道路に使われているものと同じ「アスファルト」でした。夏の暑い日に屋外で8時間光を当てることでアスファルトを固め、固まらなかった部分を油で洗い流すことで画像を作りました。



やがてもっと短い時間で鮮明な画像を写したいと考えたニエプスは、「銀」が化学変化で黒くなる性質に注目しました。そして同じフランス人のダゲールと協力して研究を続けました。その結果、銀でめっきした銅板にヨウ素を当てることで感光材料とし、撮影後は水銀蒸気で「現像」をする方法を完成させました。

「現像」を行なうことによって光を当てる時間を20~30分へと短くすることができました。この方法をダゲールは「ダゲレオタイプ」と名づけて1839年に発表しました。

この様に先人たちが研究を重ねて、今は生産量が減少していますがフィルムは大切な記録媒体として存在しています。

しかし、デジタルカメラが普及するにつれ、フィルムに相当する部分は撮像素子として高密度、高感度のものが出来て、今やフィルムの性能以上のものとなっています。

従来のフィルムは、撮影の途中で感度を変えようと思うと、フィルムを一度取り出して、別のフィルムを入れなければなりません。

デジタルカメラでは、その場で感度の切り替えが出来ます。

こんな高機能のカメラになっているのですから、皆さんはお持ちのカメラの

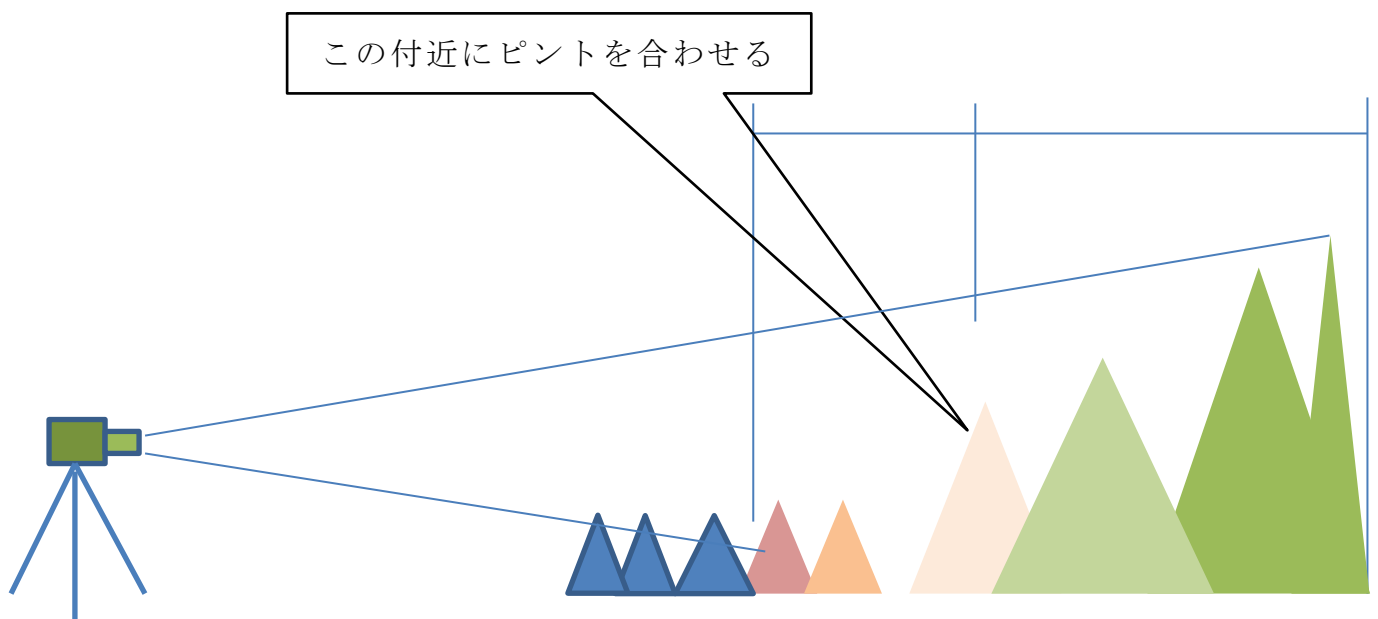
取扱いについて、説明書を繰り返して読んで撮影場所や条件に応じて撮影準備が出来る様にしましょう。

さて、本題に戻りますが、今回のパンフォーカスとは、手前から奥までピントの合ったことを言います。レンズには被写界深度という特性があります。この被写界深度を浅いとか深いと表現して、浅い場合にはピントの合う範囲が狭いことを言い、深い場合はパンフォーカス状態で(深い=ディープ)ディープフォーカスとも言います。

このパンフォーカス状態は、いわゆる『絵葉書 の様だ』と表現されるような写真のことと思って頂ければ良いと思います。

その為には、絞りを絞り込みます。絞りを絞るとシャッター速度は遅くなります。余り遅いと手振れが生じますから、三脚でしっかりと固定します。

ピントを合わせる場合、写る範囲の手前から 1/3 くらいの所にピントを合わせます。カメラのシャッターボタンを押すことによって、カメラが動いてブレが生じる場合もあります。より厳密に撮ろうと思えば、レリーズやタイマーを使うことです。



絞りは 8 以上で、絞って行くとファインダー内にシャッター速度が表示されるので、手持ち撮影だったら自分が手振れを生じない自信のある速度の手前で撮影しましょう。望遠レンズを使うほど手振れの発生は多くなります。三脚を使うことが良い写真の近道です。ISO 感度を上げ過ぎると画面が粗くなります。熊谷

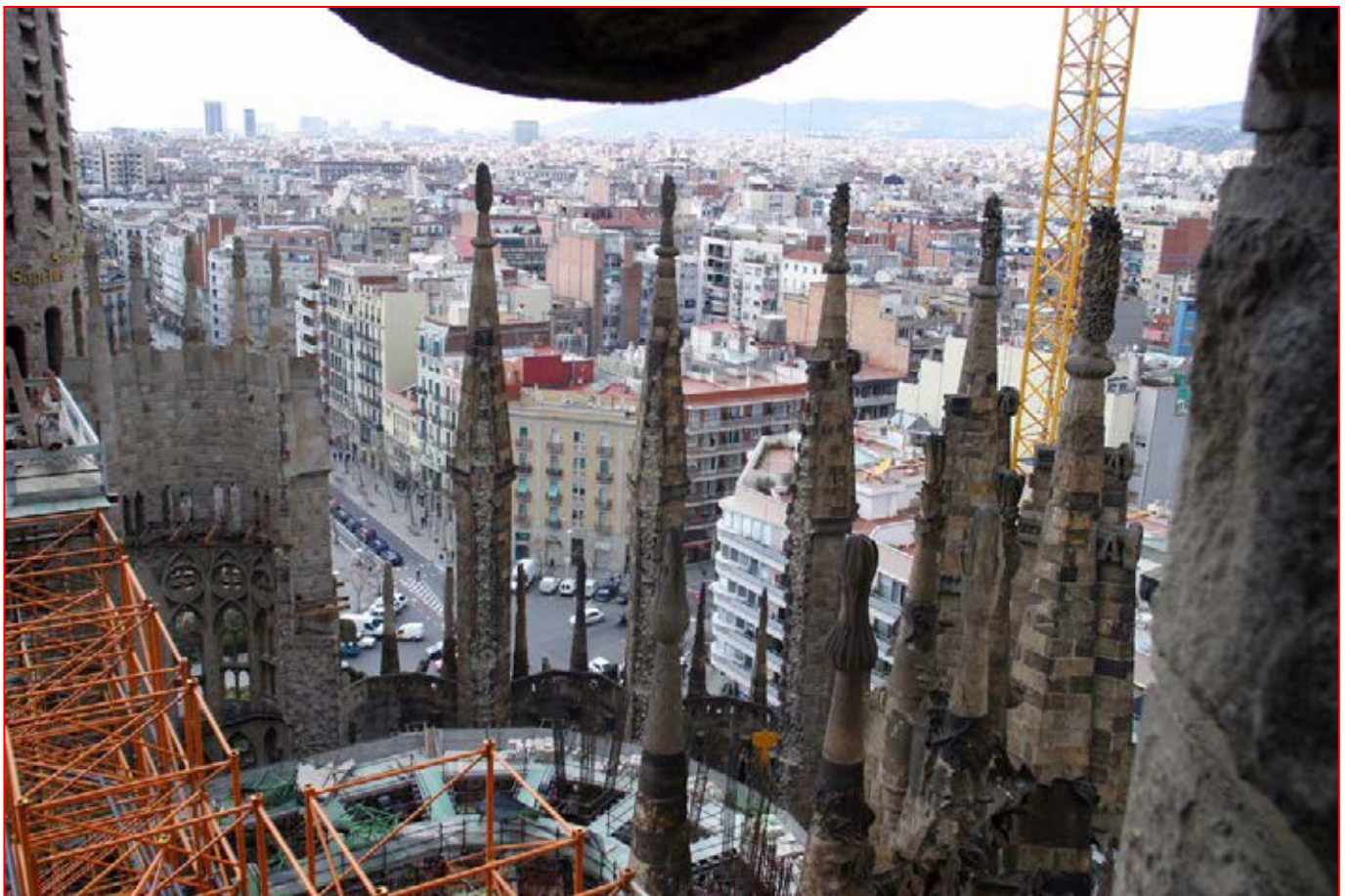






工事中のサグラダファミリアに階段を上り窓からの撮影でした。右側は窓のすぐ脇の壁なのでさすがにピントは来ませんでした。これが精いっぱい、2004年なのでカメラも今の様に機能が沢山ありませんでした。

旅行の時は三脚を持たず、苦労しますが、柱や壁にカメラを押し当てて写すこともブレを防ぐ大事な手段です。





## 笹原虎夫のページ



勿忘草



おきな草

グリムソングローリー



【カワガラスの滝裏の巣へ餌運び】





鈴木義則 のページ

## 5月の花々（自宅にて）

毎年咲く牡丹、グラデーションがきれい



咲きかけの藤の花、香りが出始める







雨の日のクレマチス、季節感が漂う



同じく雨の日のゼラニウム、水玉がより映える



松の花から飛ぶ花粉、スギ花粉を想像する



別府 30 - 05月ページ



秦野戸川公園





ヒスイ蔓



御衣黄桜

うこん桜



小田原フラワーガーデン



# 白岩のページ



宮ヶ瀬湖  
ロードトレイン



相模原公園  
風景と・・・緑の夢  
影を写す



相模原 麻溝公園  
お花による足形と亀さん





くちなしの花  
漂うほのかな香りを・・・

鈴蘭の花  
花言葉の様に再び訪  
れる事祈り



相模原公園  
タカタのタネグリーンハウスより



鈴木瑠美子 のページ

### 皐月の景色

温室内の花々が満開（花鳥園内温室）

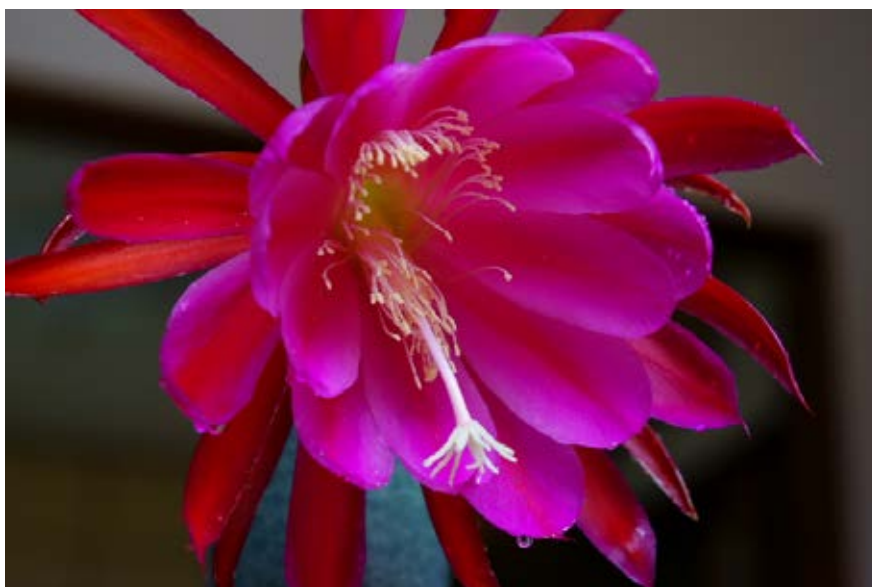


鯉が川から空へ舞い上がる（相模川にて）





孔雀サボテンが満開



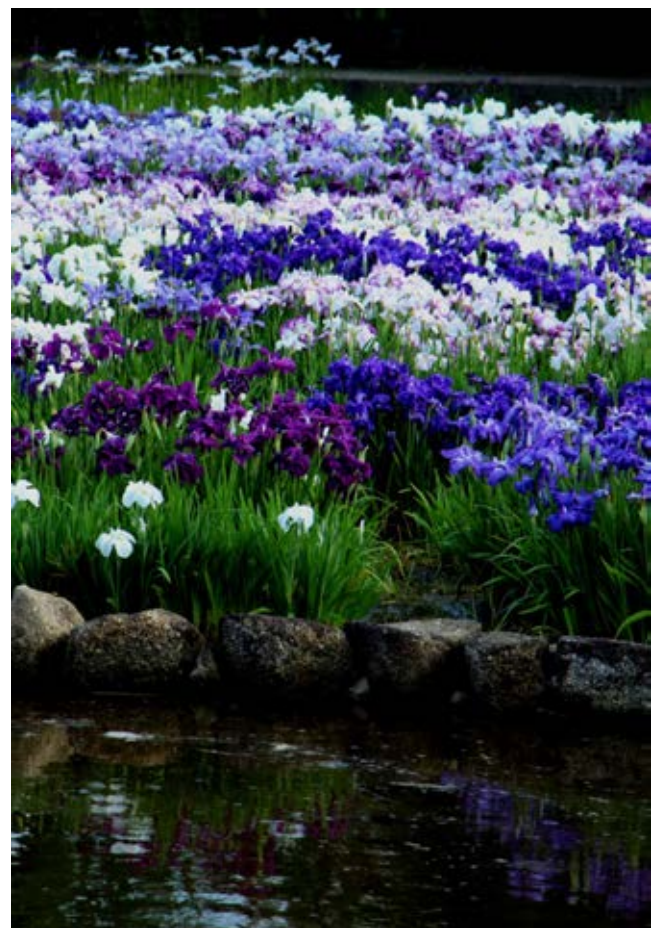
始まる農作業を控え  
トラクターを運ぶ

トラクターを飾  
るタンポポ





# 大川のページ





鹿屋航空基地にて

轟音をたて飛び立つP3C哨戒機





# 吉川のページ

春になると野山が賑やかになります



中津川の土手に  
春が来た

春一番  
露の臺が  
ぞろぞろ



今年も見事に  
咲きました  
三兄弟も



自宅の熊谷草





春の小倉橋  
なんとなく  
癒されます

静かな里山  
田舎の原風景



鴨夫婦も  
桜につられて

町田恩田川にて



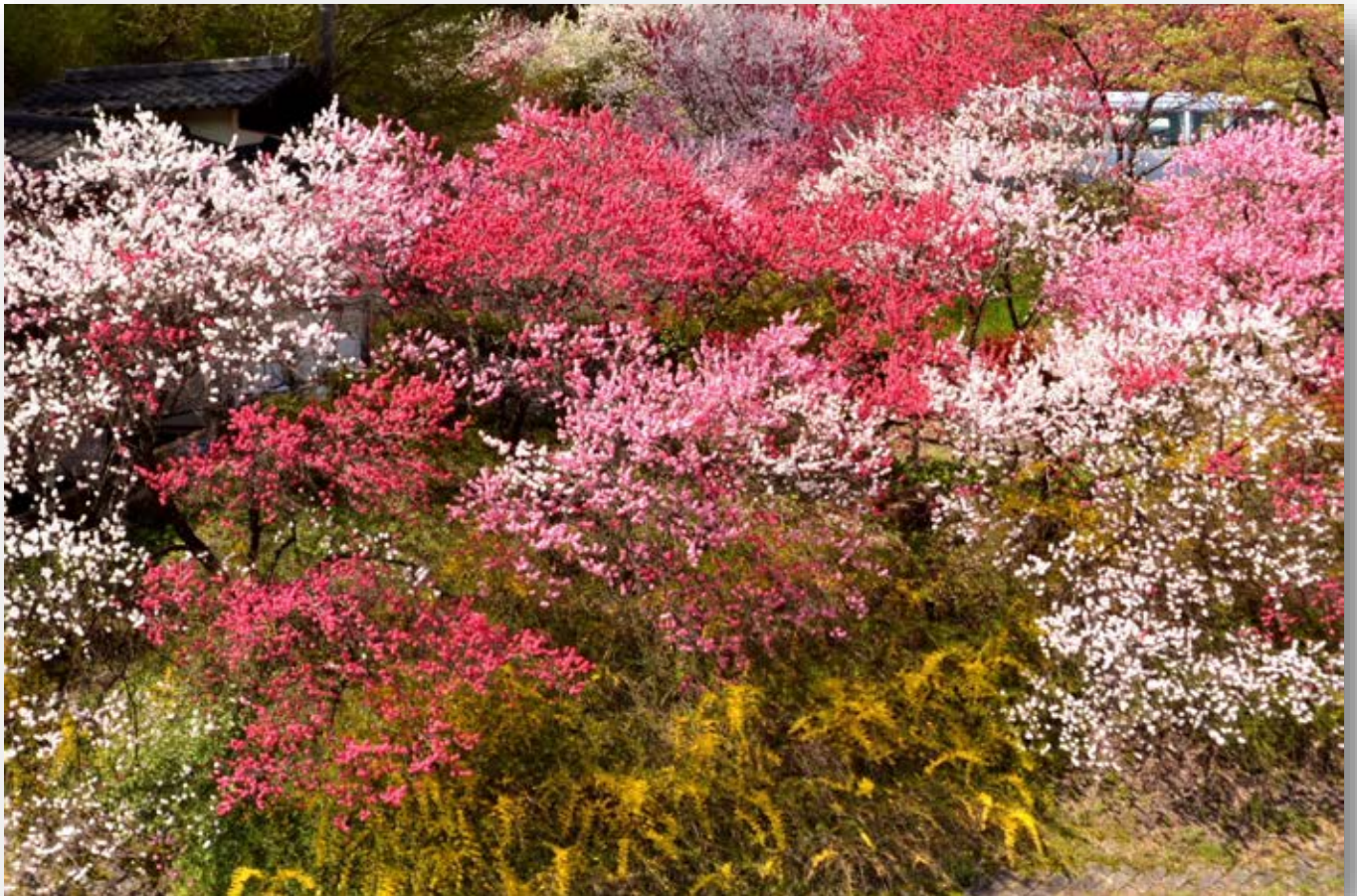


佐藤重信の  
ページ

鮮やかな赤・白・ピンクに彩られた花桃の里  
昼神温泉郷・月川温泉郷







途中にある「駒つなぎの桜」は義経が馬を繋いだと云われている